



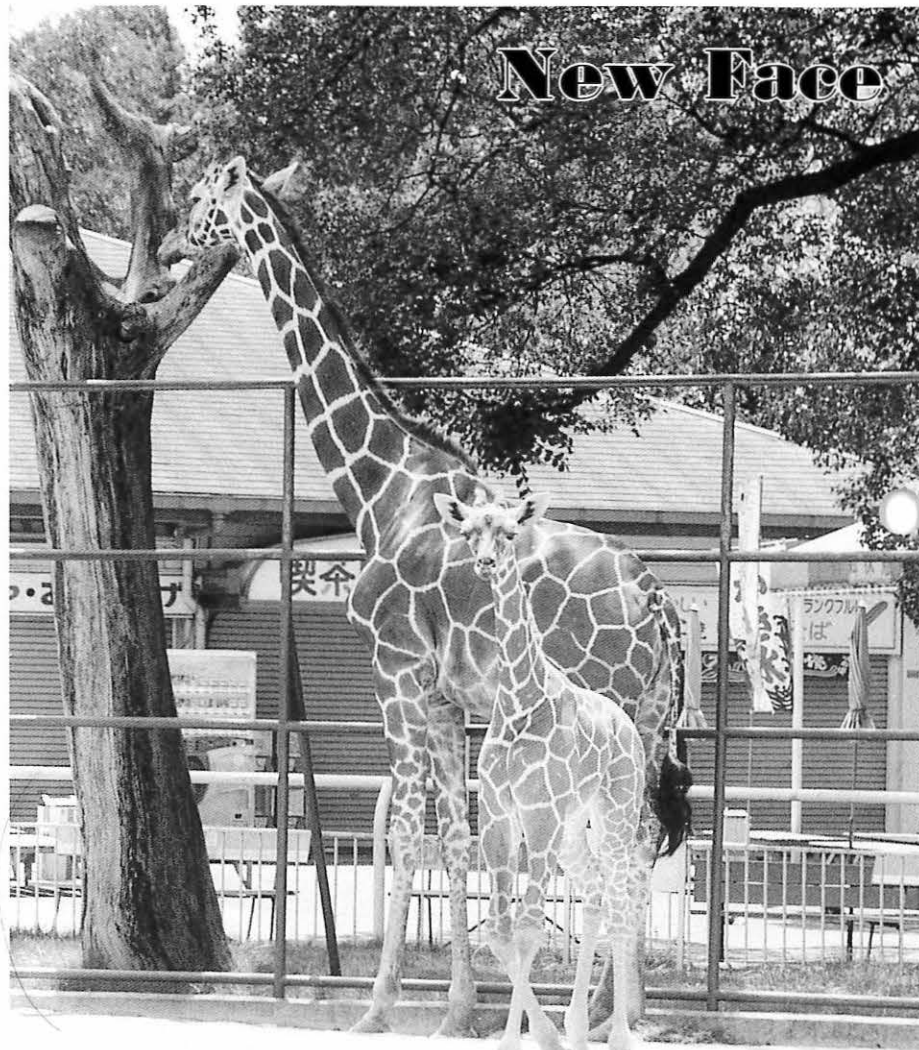
# なきごえ



1998

9

大阪市  
天王寺動物園協会



(撮影：油家 謙二)

- 2 — New Face アミメキリン (油家 謙二)
- 3 — 動物と私 (李 辛)  
カバーウォッチング ヒョウモンガメ (油家 謙二)
- 4 — 保護の現場で:コンゴが抱える苦悩  
(パサボセ・カニューニ)
- 6 — ヒョウモンガメの繁殖 (西村 慶太)
- 8 — グラフZOO サマースクール (長澤 英資)
- 10 — キーパーズアイ 動物に漢方薬  
(油家 謙二・早川 篤)
- 11 — ZOO DIARY (竹田 正人)

### カバーウォッチング

#### ヒョウモンガメ

カメ目 リクガメ科

*Geochelone pardalis*

のんびりと日がな日光浴をしていることが多いリクガメの仲間です。主に野菜類を食べる菜食主義者です。

(撮影：油家 謙二)

## ||||| 動物と私 |||||

**こ**の頃、「天うらら」というテレビ小説の番組をやっています。毎朝、8時15分になり、音楽が流れて来ますと、1歳半の娘がダンスを始めます。いつも食事中、座っていた椅子から立ち上がり、やさしいリズムに合わせて、小さくて可愛い両手を挙げて振り舞いし、とても嬉し<sup>うれ</sup>しそうに見えます。鳩が空へ遠く飛んでいくようすをまねしているのです。これを見ていると、まるで自分の心にも翼がついたようで、はるか遠いなつかしい過去へ連れ戻されたような感じがします。

**昔**の私は、動物が大好きでした。中国では山の奥地に住むことが多かったので、身の回りには、馬、牛、水牛、山羊、猫、犬、兎等の動物がたくさんいました。私はよい自然環境に恵まれて育っていたのだと言っても過言ではありません。小学校4年生から中学校を



李 辛 さん  
(画家)

卒業するまでのわずかな間に、犬や鳩を飼っていたこともあり、卵を産んでいた2羽の鶏をも飼っており、また毎朝、学校へ行く前に必ず一杯のミルクを出してくれた一頭の山羊も飼っていたことがありました。

**そ**の頃の私は、動物達との間にとても親しい関係を保っていました。なぜそうだったのか、自分にも全然分かりませんでした。この頃になって、昔の光景が、時代ドラマのように頭の中に浮かんできます。時代は文化大革命に当り、厳しい時代でした。その頃は本当に寂しかったのです。動物達は私にとって兄弟みたいな存在で、鳩や猫、兎などの動物がそばにいれば、何となく落ち着き、暖かい気持ちになるのです。

**私**は、たくさんの動物がいる環境から離れて、もう20年以上も経ちました。動物達からの恩恵を、今ではすっかりと忘れてしまいました。動物が好きだと言っても、テレビで野生動物達の姿を見たいぐらいで、動物と一緒にいたいという気持は全くなくなってしまいました。

**こ**の頃毎朝、稚<sup>ち</sup>氣に満ちた娘のようすを見ながら、自分の心の中に何かの宝物を失ってしまったことに気が付き、反省する私なのです。

(リ・シン)

## ← アミメキリン

ウシ目  
キリン科

6月13日に生まれたアミメキリンの仔「ワンダー」オスです。生まれたての頃は母親のサキコの後<sup>あと</sup>にぴったりついていましたが、最近ではグラウンドに出ると親からはなれ元気よく走りまわっています。



# 保護の現場で コンゴが抱える苦悩

コング民主共和国は、メキシコ、コロンビア、ブラジル、マダガスカル、インドネシア、オーストラリアとともに世界で最も生物多様性の高い国です。アフリカでは抜きんでいて、オカピ、ポノボ、ヒガシローランドゴリラ、コンゴクジャクなど絶滅の危機に瀕している種の生息地として、他の多様な動植物の生息地としてユニークな特徴をもつ手つかずの熱帯雨林が残されています。哺乳類(409種)、鳥類(1,086種)、両生類(216種)、蝶類(約1,000種)は第1位、維管束植物(約10,000種)は第2位を誇ります。

コング民主共和国の東部は、マイコ、ヴィルンガ、カフジ・ピエガという3つの大きな国立公園があり、とくに生物多様性が高い場所として知られています。カフジ・ピエガ国立公園は世界の自然遺産に指定されており、多様な生物の楽園として、保護のシンボルと見なされています。6,000平方キロメートルの広さの公園は、有名なヒガシローランドゴリラの生息地というだけでなく、低地の熱帯雨



フィールドで。手前左が著者、その右が山極寿一氏。

林から高地の山地林にいたるまでおびただしい種類の動植物を有している点で貴重な場所です。

カフジ・ピエガ国立公園の野生生物の保護は、近年起こった内戦によって大変な困難に直面しています。戦争によって持ち込ま

れた武器が広く普及し、各地で多くの問題を起こしているのです。困ったことに、内戦以前は武器を携帯してパトロールにあたっていた公園の監視員が、新政府の命令で武装解除されてしまいました。このような状態では、監視員が安全にパトロールをすることができず、野生生物たちは危機に見舞われています。

内戦によって普及した銃などの武器は野放し状態で、カフジ・ピエガ国立公園の保護に深刻な打撃を与えています。銃をもった多くの人々が、政治上の目的や密猟などの目的で集団を組み、公園内に露営しています。この1年半の間に、多くの貴重な動物たちが失われました。数百頭にのぼるゾウの頭骨が公園内に放置されていたことを見ても、ゾウの大虐殺があったことは確かです。ゴリラ・ツアーのために人間に馴らしてきた4つのゴリラ

集団のうち、3集団で核となるオスゴリラが殺されています。他にも無数のサル、イノシシ、カモシカの仲間が肉資源として狩猟され続けています。このままでは、森は動物のいない空っぽの空間になってしまうでしょう。



私たちが研究しているゴリラの集団。リーダーのガニャムルメが姿を現す。

## カフジ・ピエガ国立公園における研究の現状

1987年以来、私が所属するCRSN(中央科学研究所)は京都大学と共同研究を実施してきました。その目的は、主としてカフジ・ピエガ国立公園の低地と山地に生息する霊長類の種間関係を明らかにすることです。霊長類の



チンパンジーのオスのカボコ

生活様式は生息地の環境の特徴と密接な関連をもっており、私たちはそれを資源をめぐる種間の競合と共存といった視点から解明しようとしているのです。なかでも、私たちが注目しているのはゴリラとチンパンジーという2種の類人猿同士の関係です。

内戦はこの共同研究にも暗い影を落としました。研究に必要な施設や資材のほとんどが破壊されてしまい、もう1年以上も研究計画は中断を余儀なくされています。ただ幸運なことに、私たちの調査を手伝ってくれている森の案内人たちは、半年前から危険も省みず森へ入って、ゴリラやチンパンジーの追跡を再開しています。そのおかげで、今年の1月からは今まで続けていた森の季節変化や類人猿の遊動に関する資料の収集を再開することができました。森を歩くと多くの密猟者の足跡に出くわします。数々の破壊やワナの跡は、類人猿たちが危険な日々を送っていることを物語っています。今、新政府はいかにして公園の安全を確保できるかを検討しています。一刻



私たちに協力してくれる森の案内人。彼らはかつての森の獵人たちである。

も早く監視員たちが元のようにパトロールできる状態になることを願ってやみません。

## カフジ・ピエガ国立公園における自然保護教育

自然保護教育というのは、自然環境から私たち人間が受ける恩恵を学ぶ生態学の一つだと私は考えています。ポポフ(ポレポレ基金)はそういった保護教育をするNGO(非政府・非営利組織)で、この公園の周辺にすんでいる人々と協力して保護を推進することを目的としています。現在、森林の破壊や密猟が野放しになっている状況で、これらの保護活動は極めて重要な役割を担っています。ポポフはこれまで密猟をしてきた人々に保護の必要性を説き、芸術活動や生産活動を通じてゴリラや野生生物を保護するキャンペーンに参加するように呼びかけています。これらの活動がなければ、野生動物は早晩死に絶えてしまうでしょう。

ポポフの活動を成功に導くためには、密猟をするよりも保護をする方が将来豊かな生活につながるという保証が必要です。残念ながら、外国の人々との交流が途絶えている現在の状況では、ポポフの会員がつくった民芸品や生産物を流通させることができません。ポポフの人々の努力をいくばくかの報酬で報いることも、保護に協力してくれる人々の生産物を優先的に交易することもできないのです。そこで、私は日本の皆さんにお願いしたいと思っています。世界の貴重な自然遺産であるカフジ・ピエガ国立公園の動植物を保護するために、どうか私たちと協力してポポフの活動を支援して下さい。もはや生息数が300頭を下回ってしまった山地林のゴリラが生き残る道は、ポポフのこれからの努力にかかっているのです。

コンゴ民主共和国中央科学研究所  
バサボセ・カニユニ  
(Kanyunyui Basabose)

(原文は英文。翻訳は京都大学理学部助教授 山極寿一氏)

## ポポフの連絡先:

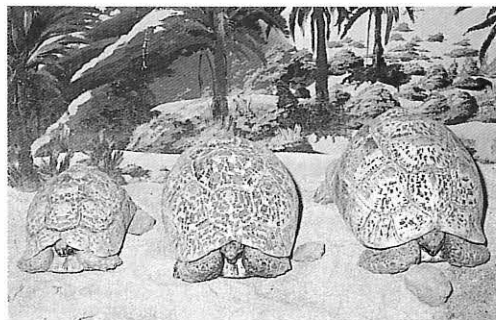
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学理学部人類進化論研究室内  
ポポフ日本支部 山極寿一

寄付金の送金は郵便局にて下記までお願いします。  
口座番号: 00810-1-90217  
加入者名: ポレポレ基金

# ヒョウモンガメの繁殖

私達の住む日本ではあまり見かけませんが、アメリカやアフリカそれにヨーロッパやアジアの一部には、一生の大半を陸の上で生活するリクガメの仲間が棲んでいます。今回お話するヒョウモンガメもそんなリクガメの仲間です。まずは表紙の写真を見てみましょう。みなさんのよく知っているミドリガメやゼニガメとどこがちがいますか？ まず手や足をみて下さい。水を泳ぐカメとちがって水かきがありませんね。そして山の様に盛り上った甲ら。口には歯がありませんがトリのように固いくちばしを持っています。ヒョウモンガメはアフリカ東南部の乾燥した草原に住んでいます。一見目立ちそうな甲らの模様も乾いた土の上では見事な保護色になっているのでしょう。草食性で餌となる草を求め柱のような力強い足で乾いた大地を歩きまわっています。くちばしのフチをよく見ると細かくぎざぎざになっています。草をくいちぎるのに都合がよいのでしょう。天王寺動物園では1987年から旧爬虫類舎でヒョウモンガメを飼育していましたが、繁殖にはいたりませんでした。

1 995年、現在の爬虫類生態館「アイファー」完成時には、当初より飼育していた雌2頭に加え新たに3頭の雄を導入し、同居飼育をはじめました。前からいた雌2頭は共に甲長50数cmあり、白地に黒の斑点が多くあって黒っぽく見える方を「黒雌ベッパー」、黒の斑点が少なく白っぽく見える方を「白雌ソルティー」と呼んでいます。3頭の雄は全て甲長30cm前後で雌よ

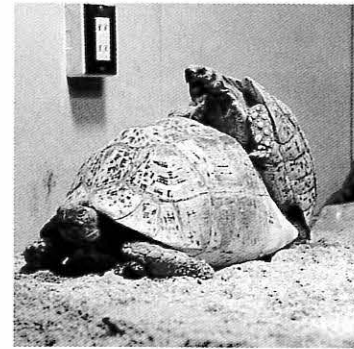


左からロック(雄)、ベッパー(雌)、ソルティー(雌)

り小ぶりです。カメの仲間は一部の例外を除き雄よりも雌の方が大きくなる傾向があるようです。やがて1996年には2頭の雌において産卵が見られるようになってきました。産卵といってもはじめの頃はカラのない未熟な卵やゴムボールのようにカラの軟らかい軟卵を産卵し良好な卵は得られませんでした。ウミガメの産卵をテレビで見た人も多いと思いますがヒョウモンガメも同じように後足で穴を掘り産卵するのですが、当初はこの穴掘りもうまくできず、産卵をしても自らの体で卵をつぶすこともたびたびでした。そこで当時の担当者が餌に混ぜるカルシウムを強化したり日光浴をさせるうち、徐々に固いカラを持つ卵を得られるようになってきました。卵はピンポン玉のようにまん丸で直径が35~40数mmの大きさです。あとは上手に穴を掘る事ができれば、卵をつぶしてしまう事故もかなり防ぐことができるはずです。

まず部屋の事を考えました。それまでの展示室は高さがある割に広さのない、縦長の部屋でした。リクガメは地面を歩く動物なので高さのある部屋より広さのある部屋が必要なのです。そこでまず広さのある現在の展示室に移動させました。広さがあればそれだけカメが好きな場所を選べ、また色々な異なる環境も作る事ができます。次に考えたのはカメの組み合わせです。動物はたんに雌と雄を一緒にすれば繁殖するものではないのです。広いサバンナで独りで暮らすヒョウモンガメが自分の仲間と出会うのは偶然の出来事といえます。雄はなわばりを持ち他の雄と出会えば争い、雌と出会えば交尾を求めます。そんなヒョウモンガメを何頭も部屋の中で飼えばお互いの姿が常に見える事自体がストレスになるのです。争いに負けた雄は逃げる事もできずいつまでも攻撃を受けます。雌も常時交尾をせまられ逃げることもできません。そこで展示室には雌2頭だけにしたかったのですが、お客さんに雌雄の違いも見てほしく一番おとなしい雄の「ロック」を含めた3頭を同居させ

残りの雄2頭は別々に飼っています。雌2頭と暮らすロックも、時々交尾行動をみせるのですが、ロックが交尾しようとするのは以前同居していた「白雌ソルティー」だけ。「黒雌ベッパー」には関心がないばかりか、時々甲らをぶつけあって争う始末。このロック、いつも雌と一緒にいて刺激に欠けるのか交尾行動をガラガラ取るばかりでうまく交尾ができないようです。



ソルティーに交尾行動をとるロック

一方「黒雌ベッパー」を以前同居していた雄「ジャイアン」の所へ連れていくと、見ている前で交尾をはじめ、出会ってから約30分足らずで交尾が終了します。反対に、「ジャイアン」を「ベッパー」のいる展示室に連れていってもなかなかうまく交尾できません。雄のなわばりの中に雌を連れていく方が雄は強気になり、雌は緊張するので交尾もスムーズにいくのかもしれませんが。

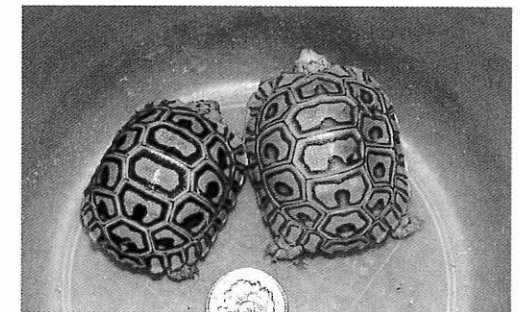
餌も変えました。いままでは根菜類や果物、パンなどが多い餌だったのですが、リクガメは本来草を主食にしているので葉菜や牧草中心の餌に変え、不必要に思った餌はなくなり、量を減らしたりしました。問題は土です。部屋には砂漠の雰囲気を出すための砂が敷いてあるのですがこの砂が穴を掘ってもサラサラ崩れてしまい穴が掘れません。部屋の一角に掘り易そうな土を入れても、2頭の雌は部屋の入口付近の照明が一番よく当たる所を選びます。そこでこの付近の砂を水でぬらしてみました。雌は産卵前になると落ちつきなく歩きまわり始めますので、この時砂を水でぬらし他の2頭を部屋の外に出し1頭だけにします。これで初めて成功したのが「ベッパー」で、深さ30cm程のフラスコ状の穴を掘り、12個の卵を産みました。しかし、同じ条件でも「ソルティー」は穴掘りが下手で、掘るとも埋めるともいえない動きで土をかき回しながら産卵するため、卵を産み始めると部屋に入りその卵を回収しました。

2 頭とも産卵を始めるのが昼の2~3時の間が多いので観察を続けることができました。卵は全て回収し恒温恒湿機という機械に収容しました。温度は29℃。湿度は70%に設定し、パーミキュライトという土や水苔を敷いたケースに卵を入れ、常に土が湿った状態のウェット式と、ふだん乾燥した状態で時々湿らす程度のドライ式の2通りの方



卵からふ化したばかりの赤ちゃん

法を取っていた所、ドライ式の「ソルティー」の卵が1997年12月20日に1個、23日に1個ふ化しました。ふ化日数は157日と160日でした。ヒョウモンガメのふ化日数は3~14ヶ月と幅があり、その年の気候や条件にあわせてふ化日数も変わるのでしょう。ふ化した赤ちゃんは甲長5cm前後で、おなかに残った卵黄が吸収されてから



お母さんとは模様が全くちがう赤ちゃんガメ

飼育ケースに移します。2頭目がふ化した4日後には、その2頭を飼育ケースに移動させ、初めて広島菜の葉を与えたところ、さっそく食べていました。こんなに小さくてかわいい子ガメが、アフリカの荒涼たるサバンナでどうやって大きくなるのだろう。私達がどうして生きていけそうにない厳しい大地の上で、この円な瞳のちっぽけな子ガメが生活し、そして岩のように大きくなっていく。そんなことに思いをめぐらせながら動物がもつ生命の真の力強さを、手のひらの上の赤ちゃんガメに感ぜずにおれないのは、さて私だけでしょうか？

(飼育課：西村 慶太)

見た、聞いた、  
知った、やったつ!!

サマースクール

全員集合!!



天王寺動物園では、昭和50年から毎年夏休み期間中の小学校4・5・6年生を対象にサマースクールを開催し、今年で24回目を迎えました。今年、180名の募集に約1,400通の応募がありました。スクール生たちは動物園での2日間、動物の観察や動物舎の清掃、エサの調理の実習などを行い、この体験を通して、動物の素晴らしさ、生命の大切さを学びました。(管理課：長澤英資)

### キリンにエサやり



わたしの手からエサを食べたよ



生まれだばかりよ。  
生命ってあったがいね。

キジ舎

## グランドZOO

小鳥舎でクイズ



ナニナニ?

固い実を食べるくちばしのかたち?

カバ舎にて



ユウカリの剪定



サル舎寢室の清掃



終了証書授与式



# カバの巻

昨年9月に新しいカバ舎がオープンし人気を集めています。このカバ舎の目玉は何といっても国内で初の試みとなる、水中のカバの様子が見える透視プールです。2つある展示プールのうち1つがガラス張りとなっており、お客さんは水の中でカバがどうしているかを見てもらえるようになっています。このプールを見ると、カバは水中を泳ぐのではなく、水底を歩いて移動すること等、色々な発見をしてもらえないかと思ひます。

カバは2頭いて、雄のテツオが上から見下ろすプール、雌のナツコがガラス張りの透視プールに入っていますが、元々カバは夜行性の動物で夜になると餌を求めて歩きます。昼間は水中でじっとしている事が多く、動いている姿を見られたらラッキーという状態でした。(実際はそれが本来のカバの姿なのでしょうが)

ところが今年になってすぐぐらいいから、ナツコが夕方、寝室に帰る時間になってもなかなかプールから上って来ないようになりました。おそらく、年のせいで体を動かすのがしんどくなって来たのでしょう。水中では浮力があるおかげで体も楽なのですが、陸上では体が重い分外のプールから寝室までの移動が辛いようです。かわいそうなので、透視プールにテツオを入れ、ナツコは寝室から出さずに、漢方薬等を飲ませしばらく“自宅療養”させる事にしました。

テツオはガラス張りのプールは初めてで、おまけにナツコよりも体が大きく、もしテツオがガラスに突進したら割ってしまうかも…と担当者も心配しながら見守っていましたが、案外すぐに慣れ、さらに、昼間でもナツコよりよく動いてくれるので展示効果が上がって良かったんじゃないでしょうか。

一方ナツコも寝室のプールでゆっくり体を休めたせいか、漢方が効いたのか、体調も良くなりました。これぞ、一石二鳥ならぬ一石二カバ？ですね。

これぞ、一石二鳥ならぬ一石二カバ？ですね。



(文：飼育課 油家謙二 絵：飼育課 早川 篤)



天王寺動物園にいるユリコという推定49才になるアジアゾウは、高齢のためか時々おしっことともに、少量の血が混ざった粘液を排泄することがあります。一度出始めると何日間か続き、そのうち自然に治まります。体内のどこから出血しているのかわからず、調べようにも、そう簡単には調べられません。血が出ている間、我々飼育係は、ユリコが貧血になってはいけなと、マスタゲンという名の増血剤を飲ませようとしたのですが、ゾウはとてもしこい動物ですから、好物のバナナの中に薬を入れて与えても、薬の味がするとボイと捨ててしまったりします。

なにか良い方法はないかと考え、薬よりも食べやすいであろうプルーンを与えたりもしました。これは素直に食べてくれるので、鉄分補給のため常時与えています。それでも直接の治療にはなっていません。そこで最近目をつけたのが漢方薬の蒲黄(ホオウ)です。蒲黄と言われてもあまり聞き覚えがないかもしれませんが、これはあの因幡の白ウサギという神話の中で、鮫に皮をはがされ、更に海水で体がひび割れた、あわれなウサギを助けるために大国主の命がウサギの体に塗った粉で、川原や池に生えているガマ科のヒメガマという植物の花粉でできています。これでウサギの傷が治ったように、昔から収れん剤(傷口等を保護し、血管を収縮させ、液体分泌を抑制して組織を乾燥させる薬)や止血剤として知られています。

実は、少しからしのような匂いがする黄色い粉ですが、水でふやかしたペレットという人工飼料の中に混ぜ合せ、団子状にして与えると、抵抗なく食べてくれました。これなら毎日与えることが出来、体の内部から血を止めてくれるので、出血がなくなるのじゃないかと期待しているのですが、まだ与えだした期間が短いので効果の程は今のところわかりません。しかし大昔の神様も使ったぐらいの漢方薬なので、ウサギの傷が治ったように、ユリコの病気がきつと治してくれるものと期待しています。

7/1. アブラコウモリ1頭、ヒヨドリ1羽、ドバト2羽を保護しました。

7月2日 “鳥の楽園”で人工ふ化を試みていたオシドリが2羽ふ化しました。先月にふ化したのと合わせて合計9羽を人工育雛しています。



7/5. ホオジロカンムリヅルが今季最初の卵を産みました。

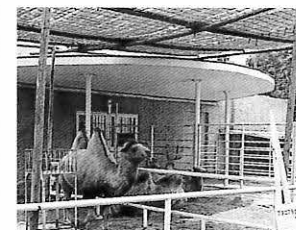
姫路市立動物園から体の色素が欠損したアカダイショウ2頭が贈られてきました。

7月6日 カナダヅルが1羽ふ化しました。これは6月3日に産卵し、昨日より嘴上げ(はしあげ)していたものです。ふ化日数は33日でした。



チンパンジーの人工授精を行いました。京都市動物園が同園で死んだオス“タロー”から採取し、凍結保存しておいた精子を同園のご厚意により分譲をうけ、当園のメス“アップル”に注入しました。

7月13日 夏の暑さ対策としてラクダ舎に葦簾(よしず)を張りまし



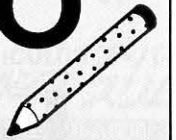
た。ラクダにとって日本の夏は蒸し暑く、葦簾でできた日陰で涼しそうに寝ています。

アムールトラの若メス“アヤ”の乳歯から永久歯へのはえかわりがスムーズでないため、乳歯の抜歯術を行いました。

7/14. スナドリネコの赤ちゃんが2頭生まれ

## 今月もおもしろ情報満載

# ZOO DIARY



ました。

- 7/19. 毎年恒例の小学4、5、6年生を対象としたサマースクールを開校しました。
- 7/20. 今年5月に生まれたマレージャコウネコ2頭の性別判定を行いました。オス、メス1頭ずつでした。
- 7/21. ヒョウモントカゲモドキが2頭生まれました。
- 7/26. 今年5月にふ化したシュバシコウ5羽に個体識別のため足環を装着しました。

ニューギニアヘビクビガメが産卵しました。

7月27日 チンパンジーの群れ作りのため、メスと子供の群れにオス“リッキー”を同居させました。

大きなトラブルもなかったので、今後徐々に同居回数を増やし、群れを確立する予定です。



### ■お知らせ■

- 動物園のおじさんのお話「コアラのお話」  
日時：10月18日(日) 午後1時30分  
場所：レクチャールーム
- 秋の動物と花のフェスティバル'98  
日時：10月11日(日)～11月3日(祝)  
場所：天王寺動物園・天王寺公園



愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間は？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

〈くらしかいかたシリーズ〈既刊本〉〉

B5変型判・オールカラー

### むしくらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち250種を紹介。

### ちいさないきものくらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



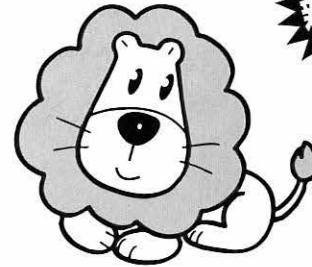
## マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856  
**(株)増田食品** 大阪府豊中市穂積1-10-30  
TEL (06)865-0165

FUJIFILM  
I&I-Imaging & Information



新発売

楽しいショットを  
3つのサイズで。

ADVANCED  
PHOTO SYSTEM



FUJICOLOR スーパー  
スリム  
APSフィルム使用

# 切替

撮影シーンに合わせて、  
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

## かろうの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031

## 狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子〔編著〕 ●新刊  
3,500円＋税 ●限定1000部  
狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学をはじめて世に紹介した平岩米吉の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を娘の眼から深く描く。  
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわせ、動物画家・大崎善司、日本好きのスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史  
2,600円＋税

犬と狼  
●2刷出来 2,500円＋税

犬の生態  
●6刷 2,000円＋税

犬の行動と心理  
●4刷 2,000円＋税

私の犬  
2,200円＋税

猫の歴史と奇話  
2,200円＋税

動物文学 復刻版 [全10巻＋補巻・索引]

174,757円＋税 ●限定300部(分売不可)  
南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)  
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本  
入園の記念・手引に……

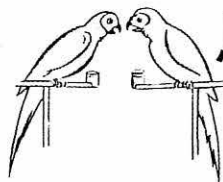


オールカラー  
**500円** 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



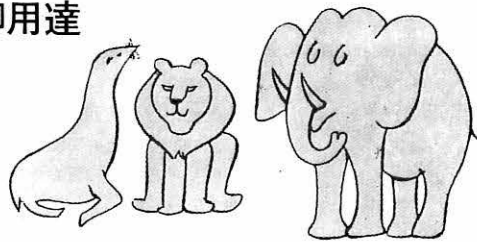
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ 指定会社)  
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 30円

動物園内での  
お食事、  
ご休憩は

動物園内.....

## 中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ

動物園内

## 南園売店

TEL 06-771-7110



LOTTE

みんな大好き



エアラのマテ



〈チョコレート〉



〈ストロベリー〉



# 365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに、  
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままに、カルシウムの量を600mg(成人1日あたりの所要量)までアップさせた、雪印毎日骨太。日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召し上がりください。



## 雪印毎日骨太

300ml・100円／希望小売価格(税別)



一日  
愉快地  
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社  
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ

1998年9月10日発行(毎月10日発行)第34巻 第9号(通巻397号)

編集/大阪市天王寺区動物園事務所  
発行人/大阪市天王寺動物園協会 中山良三郎  
印刷所/株式会社 松村善進堂

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1  
振替口座 00930-2-37823

編集委員 [井坂 進/中尾啓一/石井 等/中川哲男/藤田四郎/長谷川敏昭/長澤英資/山崎道正/楠原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄  
中上正幸/萩原祐二/満 勇二/坂本 全/竹田正人/高見一利/山元貞幸/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/油家謙二]